

# 平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 11日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	35220
政策名 (章)	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 観光の振興と余暇対策の推進		商業観光課
施策名	余暇利用施設の充実	課長名	梅沢 道雄

## 1 施策の概要・目的

市民が気軽に自然に親しめる余暇利用施設としての充実を目標としている。

## 2 施策の現状

- 平成15年度中に望地弁天キャンプ場の再整備をし、平成16年4月にリニューアルオープンする。
- たてしな自然の村の利用促進策(新たな利用者の拡大等)を実施する。

## 3 総事業費及び人員

### (1) 施策に要している総事業費

**247,789** 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

### (2) 市民1人当りの事業費

**402** 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

### (3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **64** 番目です。

### (4) 施策に要している人員

**2.6** 人……構成事務事業全体の人員合計

## 4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値		目標
			現状	目標	目標年度
指標1	キャンプ場有料化 有料化導入による、適正な管理運営の実施	現在は無料である。 手法を早急に検討し、導入するための目標値とする。	10 % 単位	0 50 100	目標年度
			100 % 単位		2004
指標2	たてしな自然の村利用促進 平日の利用促進による稼働率の向上 (稼働率=利用棟数/利用可能棟数)	施設の稼働率が適切であるかの判断。	34 % 単位	0 50 100	目標年度
			50 % 単位		2006
指標3			単位	0 50 100	目標年度
			単位		達成度
					%

## 5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

市民の貴重な余暇利用施設として、円滑な運営を心がけており、現段階での利用者の満足度は得られている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

市内各種団体への利用依頼を初め、ミニニュースなどを制作し積極的に周知を行っておりますが、今後も引続き企業・大学等にも働きかけることにより利用率が向上している。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

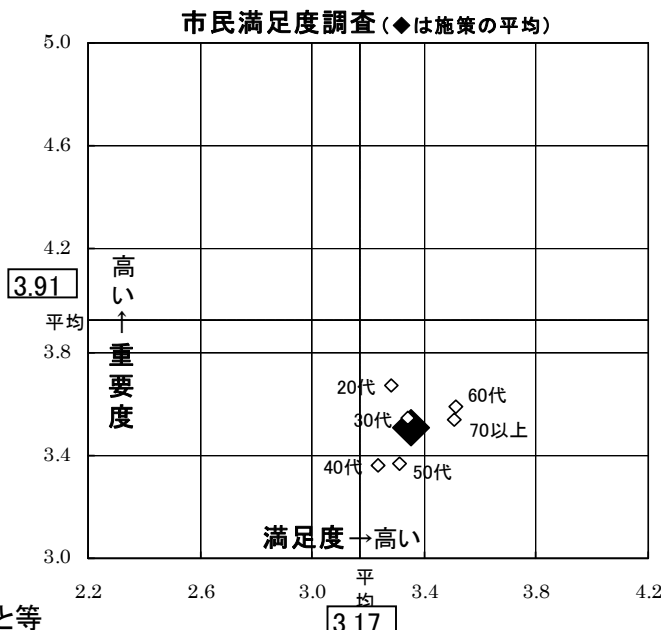
・キャンプ場以外は使用料等を徴収し、それに見合うサービスの提供は実施できている。  
 ・キャンプ場は現在使用料等を徴収していないが、利用者アンケートなどを実施し、利用者のニーズに対応する負担を求める必要がある。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.356で、調査した51施策の中で6番目です。  
 ◆この施策の重要度は、3.506で、調査した51施策の中で48番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代で最も低くなっています。重要度は20歳代で最も高く、40歳代及び50歳代で低くなっています。20歳代で改善要望が高いことがうかがえます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

・キャンプ場については、サービスの提供の充実化とともに有料化の導入をおこない、管理経費の軽減を図っていく。  
 ・余暇利用施設の平日の稼働率が低く、新規利用者の発掘のためPR等情報提供を推進する必要がある。

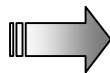
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

・各施設とも利用者アンケート調査を積極的に行い、より市民ニーズに対応する施設としていきたい。特に、キャンプ場については、サービスの提供の充実化とともに有料化の導入をおこなう必要がある。  
 ・既存の観光資源と併せ余暇利用施設のPRを「(仮称)観光情報ホームページ」を中心に積極的に行っていく。

11 2次評価

説明

A

B

C

市民ニーズの多様化が著しく、民間と競合する分野でもあることから、既存施設のあり方について検討を進めるとともに、民間ノウハウを取り入れた管理運営について検討すること。

12 外部意見

説明

余暇施設のあり方、利用を高めるための方策及び市民へのPRのあり方について検討すべきである。

施策名 余暇利用施設の充実

施策コード 35220

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要									施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性	今後の進め方	
キャンプ場管理運営費	商業観光課	15	22,009	1.00	A	A	A	B	/	/	A	B	見直し	1
相模川自然の村管理運営費	商業観光課	15	141,712	0.80	AAA	A	A	B	/	/	A	A	継続	3
たてしな自然の村の再整備	商業観光課	15	71,849	0.13	B	B	B	C	/	/	A	A	継続	2
憩いの場維持管理	商業観光課	15	4,854	0.15	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	4
キャンプ場整備事業	商業観光課	15	421	0.50	AA	B	A	A	/	/	A	B	継続	再掲
緊急雇用創出対策事業 キャンプ場受付事務委託	商業観光課	15	6,944	0.02	AA	A	A	B	/	/	A	A	継続	再掲

合計 6 事務事業

247,789 千円 2.60 人 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度  
平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性